



アトムクス株式会社

2026年3月期

中間年次報告書

自 2025年4月1日 至 2025年9月30日

■ 株主の皆様へ



目次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 中間連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・
株式情報…… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの2025年4月1日から2025年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2025年12月

代表取締役社長 **宮里 勝之**

■ 営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調が続いているものの、長期化している地政学的リスク、円安や原材料価格等の高騰が続いており依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは第14次3ヶ年計画の最後の期である当期において、その目標を達成させるとともに、新たな組織（営業変革推進室）を立ち上げる等「変革」をキーワードに掲げ各事業部において現業務の見直し等の取り組みを行い効率化、生産性の向上を行い、自助努力にて補えない部分を価格改定により利益確保に努めています。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高59億41百万円（前年同期57億95百万円）、営業利益2億62百万円（同1億4百万円）、経常利益2億77百万円（同1億7百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益1億91百万円（同59百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

〈塗料販売事業〉

汎用・床用塗料においては、アメリカの関税政策により主力顧客としている工場ユーザーの設備投資は依然として動きが鈍い状態ですが、熱中症対策により遮熱関連製品が伸長したこと、新規工場ユーザーを獲得したことにより前年を上回りました。道路用塗料においては、インフラ補修関連製品、施工機械が伸長したこと及び「地図管理システム」が県警に採用されたことにより前年を上回りました。家庭用塗料は、新規獲得と企画提案活動を行い販路の拡大を行っていますが、個人消費の節約志向の高まりと5月の連休においてホームセンター分野での売上が低迷したため前年を下回りました。

この結果、当中間連結会計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて48百万円増加し54億42百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

〈施工事業〉

床材工事の受注の増加及び子会社アトムテクノスで受注した工事が順調に進行し早期に完工したため前年を上回りました。

この結果、当中間連結会計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて98百万円増加し4億99百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

■ 通期の見通し

2026年3月期の通期業績につきましては、原材料価格や各種エネルギーの高騰及びアメリカの関税政策により、先行きが不透明な状況が続くと予想されるため、売上高130億円（前連結会計年度123億48百万円）、営業利益4億10百万円（同3億50百万円）、経常利益4億25百万円（同3億65百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益8億10百万円（同2億28百万円）を見込んでいます。

■ 事業の概要

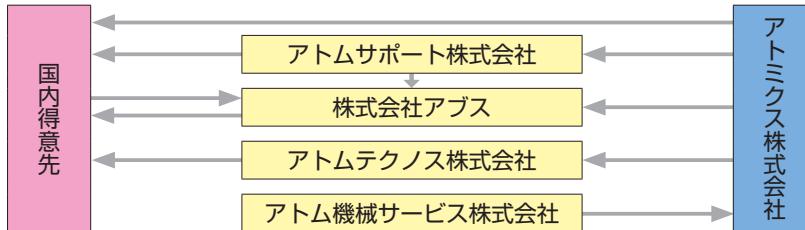
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。
塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



経営理念・価値基準

次の経営理念・価値基準のもと、研究開発・営業活動に取り組み企業価値の向上を図っていきます。

経営理念

1. 製品・サービスを通じて社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に向けて貢献する
2. 独創性に溢れた発想と高度な複合化技術によって市場を絞り込み、その市場でナンバーワン、オンリーワンになることを目指し価値を提供する
3. 会社の成長発展を通して、社員の幸福を追求すると同時に社員の自己実現を支援する

価値基準

安全 (Safety) ・ 安心 (Relief) ・ 快適 (Comfortable)

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、熔融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(5) 水性防水材



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用又アクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

(6) 景観材塗料



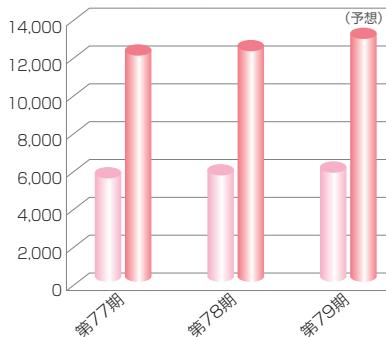
コンクリートの劣化防止、剥落・汚れ防止などの機能を付与するとともに、建物や擁壁、地下道など街の景観維持に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移

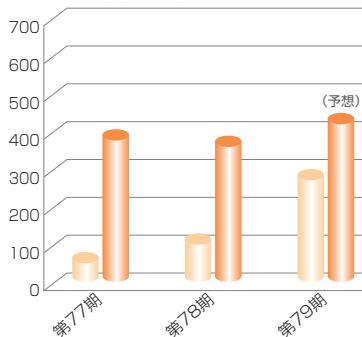
売上高

■ 中間期 ■ 通期 (百万円)



経常利益

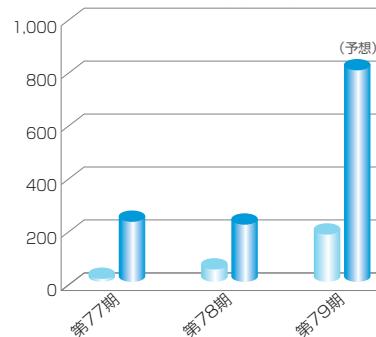
■ 中間期 ■ 通期 (百万円)



親会社株主に帰属する

中間(当期)純利益

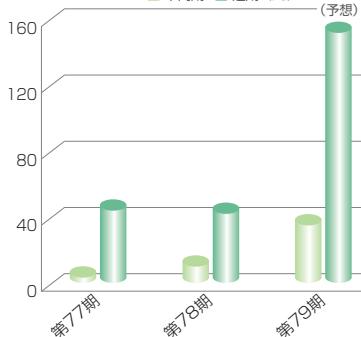
■ 中間期 ■ 通期 (百万円)



1株当たり

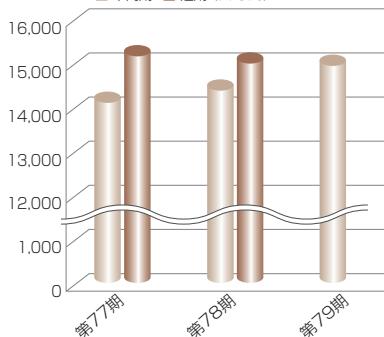
中間(当期)純利益

■ 中間期 ■ 通期 (円)



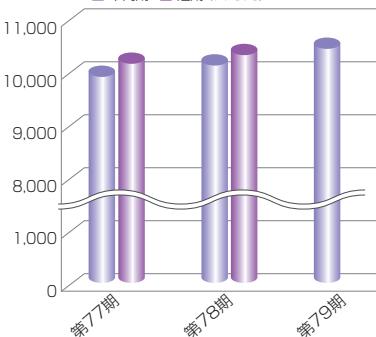
総資産

■ 中間期 ■ 通期 (百万円)



純資産

■ 中間期 ■ 通期 (百万円)



区 分	第77期 2024年3月期		第78期 2025年3月期		第79期 2026年3月期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期 (予想)
売上高 (百万円)	5,641	12,122	5,795	12,348	5,941	13,000
経常利益 (百万円)	58	382	107	365	277	425
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)	24	239	59	228	191	810
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	4.54	44.96	11.18	43.00	36.07	152.2
総資産 (百万円)	14,137	15,190	14,413	15,025	14,974	-
純資産 (百万円)	9,940	10,188	10,155	10,351	10,469	-

中間連結決算報告（要約）

中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	前期末 (2025年3月31日現在)	当中間期末 (2025年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,709,380	8,391,769
固定資産	6,315,800	6,582,259
有形固定資産	5,076,561	5,302,678
無形固定資産	424,170	357,883
投資その他の資産	815,068	921,697
資産合計	15,025,180	14,974,029
(負債の部)		
流動負債	4,052,952	3,879,079
固定負債	620,489	625,430
負債合計	4,673,441	4,504,509
(純資産の部)		
株主資本	10,061,060	10,155,688
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	754,293	754,293
利益剰余金	9,276,493	9,371,121
自己株式	△ 1,009,725	△ 1,009,725
その他の包括利益累計額	290,678	313,830
その他有価証券評価差額金	267,282	293,483
退職給付に係る調整累計額	23,396	20,347
純資産合計	10,351,739	10,469,519
負債純資産合計	15,025,180	14,974,029

中間連結損益及び包括利益計算書（単位：千円）

科目	前中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間期 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,795,227	5,941,872
売上原価	4,262,584	4,196,804
売上総利益	1,532,642	1,745,068
販売費及び一般管理費	1,427,792	1,482,678
営業利益	104,850	262,389
営業外収益	18,200	16,132
営業外費用	15,297	535
経常利益	107,753	277,986
特別利益	49	1,346
特別損失	289	3,235
税金等調整前中間純利益	107,513	276,098
法人税、住民税及び事業税	22,443	84,142
法人税等調整額	25,571	△ 15
中間純利益	59,498	191,971
親会社株主に帰属する中間純利益	59,498	191,971
その他の包括利益	1,708	23,152
中間包括利益	61,207	215,123

中間連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

科目	前中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間期 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	546,413	208,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 174,344	△ 391,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 124,665	△ 15,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	247,403	△ 198,532
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,922	2,831,524
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,842,326	2,632,992

会社概要・株式情報 (2025年9月30日現在)

1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
創業 昭和12年2月
資本金 10億4000万円
従業員数 217名 (従業員数に嘱託社員を含めています)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
支店 大阪府大東市
営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
名古屋・広島・福岡
工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 宮里 勝之
取締役 花形 裕透
富士田 学
鈴木 太亮
田中 滋子 (社外・独立役員)
常勤監査役 小川 博巳
監査役 上原 左多男 (社外・独立役員)
石川 伸吾 (社外)
執行役員 川端 裕之
織田 英樹
眞子 忠孝

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
発行済株式の総数 7,242,000株
株主数 1,367名
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
アトミクス取引先持株会	1,009千株	17.62%
東京中小企業投資育成株式会社	700	12.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口:75715口)	404	7.06
西川正洋	280	4.89
大和証券株式会社	260	4.54
ナラサキライン株式会社	134	2.35
東洋テック株式会社	126	2.20
アトミクス社員持株会	112	1.96
楠本化成株式会社	106	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.85

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する404,300株を除いた自己株式(1,515,945株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主
確定日 3月31日
中間配当金受領株主
確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人・
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同送付先 東京証券取引所
上場証券取引所
証券コード 4625
公告の方法 電子公告
URL <https://www.atomix.co.jp>
(やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本
経済新聞により公告いたします)

ATOM'X